

# 2011年度医事法

第7回 2011年5月31日火10時20分

22番教室

樋口範雄・児玉安司

[nhiguchi@j.u-tokyo.ac.jp](mailto:nhiguchi@j.u-tokyo.ac.jp)

# こちらのサイトで

- <https://sites.google.com/site/higuchi2011/2011nendo--iji-hou/kougi-shiryou>
- 東京大学オープンコースも復活
- <http://ocw.u-tokyo.ac.jp/>

- 4月5日 授業の進め方と判例28(クロロキン薬害訴訟)板持  
12日 休講(入学式のため)  
19日 判例29(ステロイド剤注射)西田 判例30(薬害エイズ)中川翔太  
26日 判例31(健康食品)渡辺 判例32(同意入院)浅岡  
5月10日 判例33(精神障害者の自殺)淵上 判例34(院外他害行為)下山  
17日 判例35(院内他害行為2)坂下 判例36(他害行為と保護者)伊勢  
24日 判例37(ロボットミ手術)小西・秋元  
判例38(死後精子移植)小倉  
31日 判例39(墮胎・遺棄致死)橘 判例40(性転換手術)社本・田中  
6月7日 判例41(東海大学事件)杉浦・内堀 判例42(人工呼吸器外し)西村  
14日 判例43(腎移植)廣瀬・坂田 判例44(輸血拒否事件)新井  
21日 判例45(採尿検査)西田 判例46(病理解剖標本)小林・松田  
29日 判例47(中絶胎児の廃棄)鈴木・王  
判例48(中性子線と実験的医療)射手矢  
7月5日 判例49(臨床試験とプロトコル)佐藤 判例50(同意)市川・木村  
12日 判例51(治験と贈収賄)飯田 判例52(後発薬品)柿本 ??

# 判例38(死後精子移植)小倉

高松高裁平成16年7月16日判決

- 最高裁平成18年9月4日判決

- 判例時報 1952号 36頁 判例タイムズ1227号120頁

1 高松高裁判決と最高裁判決を読んで比較分析

違いは何か？ 何によって結論を異にしているのか？

補足意見2つの意義は？

2 死後凍結精子から生まれた子の認知請求

- 何が問題か ①人工生殖の技術としての是非

- ②それとは別の生まれた子の福祉

- ③認知制度・戸籍制度の意義

- ④法律がない場合に裁判所は？

# 判例38も含めて

- 31日 判例39(墮胎・遺棄致死) 橘
- 判例40(性転換手術) 社本・田中
- 今回の3件を素材に、医事法における「患者の同意」の意義を考える
- これらはどれも同意あり、しかし、その有効性を認めなかった。それはなぜか？

# 上告(控訴)趣意書と判決

- 31日 判例39(墮胎・遺棄致死)橘
- 判例40(性転換手術)社本・田中
- これら2件は、いずれについても、上告趣意書(控訴趣意書)がデータで出てくる(別添のワード文書参照)。
- これらと判決を比較してみよう